

2023 郡山ザベリオ学園小学校 学校案内

2023年度入試日程

	【願書受付期間】	【入学試験日】
前期入試	2022年 11月4日(金)～2022年 11月16日(水)	2022年 11月26日(土)
後期入試	2023年 1月7日(土)～2023年 1月18日(水)	2023年 1月28日(土)

※転入学については随時受け付けております。
お問い合わせ等がございましたら、いつでもご連絡下さい。



XAVERIO GAKUEN ELEMENTARY SCHOOL



郡山ザベリオ学園小学校

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷102番地
TEL 024-952-7756(代) FAX 024-952-7014
<https://www.xaverio.ed.jp/elm/>



Your Future is Here

未来はここに

<https://www.xaverio.ed.jp>



輝く未来へ 心を大切に

子どもたちが大人へと成長していく時。

未来は私たちの想像をはるかに超えた世界が
広がっているかもしれません。

AIという言葉に代表されるように、

激しく移り変わっていくこの時代

子どもたちのために何を大切にすべきでしょうか。

心の教育

人が心から幸せを感じる時

それはみなさんの心の力をなくしては語れません。

どんなに時代が便利になっても

どんなにAIが私たちの生活に浸透したとしても

国際社会で活躍するためにも

「心の力」を大切にしたい

郡山ザベリオ学園小学校の想いです。

教育目標



自ら学ぶ力

学ぶ力の育成
専門性を生かした授業
各種検定への挑戦



共に生きる力

充実した国際理解教育
幼稚園・中学校との交流
縦割りの活動



健やかな心と からだ

愛の精神を育む
健やかなからだづくり
充実した放課後活動

一人一人の
夢の実現のために
共に挑戦し続ける
いのち輝く学校を目指して



郡山ザベリオ学園小学校 校長 高橋 正人

本学園の目指すところは、一人一人のいのちが輝く学校です。感謝の気持ちを忘れず、かけがえのない大切ないのちとそれぞれの果たすべき使命を自覚し、世界への関心を広げ、より良い社会を創り上げる人材を育成することが、本校創立以来、脈々と息づいている教育理念です。

この理念を実現するため、三つの柱である「自ら学ぶ力」「共に生きる力」「健やかな心とからだ」を育むことを教育目標に掲げ、幼・小・中の一貫した教育の強みを生かし、探究心をもって日々学び続ける子どもたちを育成するとともに、心身ともに健康で心豊かな教育活動を通して、グローバルな国際社会に貢献できる子どもたちを育てまいります。

保護者の皆様はもとより、地域の皆様の期待に応えることができるよう教職員一丸となって質の高い教育活動を展開してまいりますので、変わらぬご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

年間行事



4月
・入学式
・1学期始業式



5月
・運動会
・マリア祭



6月
・プール開き
・修学旅行(6年生／東北)

7月
・音楽祭
・夏祭り
・1学期終業式



8月
・2学期始業式

9月
・遠足(1～3年生)
・5年合宿(裏磐梯)



10月
・4年合宿(郡山)
・学園バザー

11月
・マラソン大会



12月
・ザベリオ祭
・クリスマスを祝う会
・2学期終業式

1月
・3学期始業式

2月
・スケート教室(1・2年生)
・スキー教室(3・4年生)/スキー合宿(5年～中1年生)
・巢立ちの集い(6年生)

3月
・卒業式
・修了式

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、行事を変更・中止する場合があります。

一日の流れ



8:10 登 校



8:15 読書の時間

8:25 朝の放送
(お祈り・聖歌)



8:40(5・6年生) 1・2校時
8:45(1～4年生)

10:25(1～4年生) フリータイム
10:30(5・6年生)

10:45(1～6年生) 3・4校時



12:35(1～4年生) 昼食
12:40(5・6年生)

13:00 お昼休み/縦割り清掃



13:40(5・6年生) 5・6校時
13:45(1～4年生)



14:45(1・2年生) 下校
15:45(3～6年生)

16:00(4～6年生の希望者) 部活動

学力向上をめざして



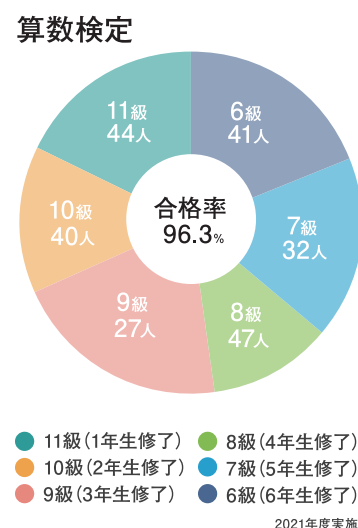
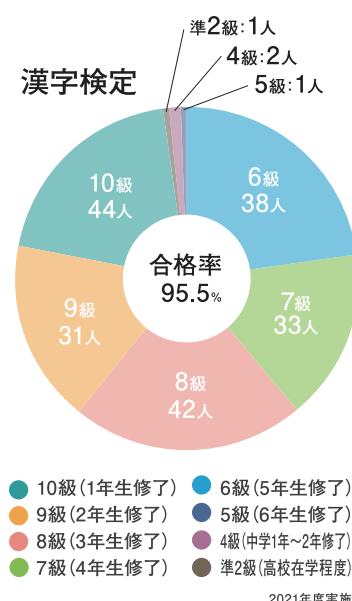
— 学び合い学習

本校ではペア・グループ学習の形態をとり、子ども同士の学び合いを大切にしています。

確かな学力 高い学力

▷公立小学校と比べると授業時数は6年間でおよそ1,000時間以上多なっています。

学 年	1	2	3	4	5	6	6年間計
本 校	1,030	1,100	1,150	1,220	1,220	1,220	およそ6,900
標準時数	850	910	960	995	995	995	およそ5,700



— 専門的な学び

心・いのちの教育

宗教の授業だけでなくすべての教育活動において全教員で心・いのちの教育に取り組んでいます。



理科・算数科

6年生の理科では、中学校教員とのチーム・ティーチングによる個に応じた指導を行っています。また高学年の算数科の授業では、週1時間、中学校教員が指導にあたることで、発展的な内容にも取り組んでいます。

音楽科

友だちと楽しく音楽活動する中で、子どもたち一人ひとりの感じ取る力、表現する力を伸ばします。



体育科

運動を通して他者を理解し、共に助け合い、協力すること、自分の目標に向かって努力する力を大切にしています。

小中一貫教育の 取り組み



小1・小2・小3・小4

第Ⅰ期 基礎期

段階

授業形態

宗教教育

基礎・基本の習得と確実な定着
集団生活への適応

- 小3・4算数科の確実な定着を狙ったTTの推進
- 国語科のビブリオバトルの実践
- 一部教科専科制
- 少人数教育の推進

ザベリオ独自の英語カリキュラムでの
AET・専科英語教師による英語指導

小1…「神様といっしょ」
小2…「イエス様も友達」
小3…「みんなのタラント」
小4…「私はあなたと共に」

神様がつくられた素晴らしいものよい心、私達は皆兄弟、マリア様、救い主イエス様、旧約聖書の物語に学ぶ、イエス様の復活、エジプト物語

小5・小6・中1

第Ⅱ期 充実期

基礎・基本の定着と主体的な活用
中学校生活の準備

- 算数科TTの推進
- 中学校教員による一部教科担任制
- 小国語・算数における定期テストの実施
- 小5・6年50分授業
- 中学校教師の授業提供

ザベリオ独自の英語カリキュラムでの
AET・専科英語教師による英語指導

小5…「聖書は友達」
小6…「生き方を見つめて
～地の塩・世の光～」
中1…「人との関わりの中で愛を見つける」

聖書という本、イエス様の価値観、神様からの贈り物、イエス様の愛に生きた人々、祈る心、許し、信・望・愛、イエス様の降誕祭を祝う待降節（タブロー劇）

中2・中3

第Ⅲ期 発展期

基礎・基本の活用と知の統合・発展
進路実現へ向けて

- 教科センター方式による学校運営
- モジュール学習
- 進学校希望別コース学習
(サタデースクール)

ザベリオ独自の英語カリキュラムでの
AET・専科英語教師による英語指導

中2…「お互いを認め合い、喜び合う」
中3…「自分を役立てる」

聖母マリアから学ぶ、聖書とキリスト教の歴史、世界の宗教、日本のキリシタンの心 私を支える聖書の言葉、平和を担うものとして、救い主であるイエス様の降誕祭を喜ぶ待降節

— 中学校の特色



特色1 / 新しい学び方への挑戦

授業毎に校舎内の教科専用教室を移動して学ぶ「教科センター方式」
授業時間を弾力的に運用する「モジュール学習」
異学年コース別学習で、自律的に学ぶ力を鍛える「新サタデースクール」を実施しています。



特色2 / 成長プレゼン&インタビュー

ICTを活用した「プレゼン&インタビュー型」の個別面談を全生徒が経験します。生徒は「学びや成長」を発表、保護者・教員は質問やアドバイスを贈り、生徒の「自己教育力」を高めていきます。



共に生きる力

／国際人としての基礎を培う英語教育



イングリッシュ スタッフ

ネイティブスピーカー教員を含む計6名の教員で授業を行っています。
低学年ではネイティブスピーカー教員との授業を中心とし、英語独自の音声に多く触れ合う機会を増やします。
高学年では中学校教員による授業の時間を設け、自己表現活動を行い中学校への準備をします。

4つのスキル

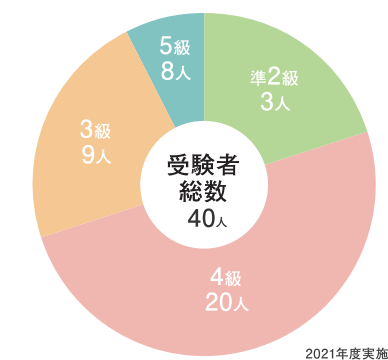
ICT機器を活用して会話の練習をしたり、教員との会話練習を通して、外国語の背景にある文化に触れながら、英語でのコミュニケーション力を養います。また、短い物語などを読んで内容を理解する力も育てます。



English day

日常的に英語を使うことができるように毎週水曜日を「English day」として、朝や帰りの会の進行や挨拶、お祈り、また、ネイティブスピーカーによる絵本の読み聞かせなどを英語で行っています。

6年生実用英語技能 検定結果



検定結果

小学生が卒業をするまでに8割が4級以上、中学校を卒業するまでに、準2級を取得することを目標としています。

学年	公立小学校	ザベリオ学園
小1	10時間程度	68時間(週2時間)
小2	10時間程度	70時間(週2時間)
小3	35時間	105時間(週3時間)
小4	35時間	105時間(週3時間)
小5	70時間	105時間(週3時間)
小6	70時間	140時間(週4時間)
合計	230時間程度	593時間

授業時数

6年間で約350時間以上多く、英語の授業を行っています。

心とからだの教育



— 豊かな人間性

— カトリックの価値観に基づく教育



祈る心

祈りは学校生活の中心です。祈ることは、神様を賛美し感謝を捧げ、他者の幸せを願います。



宗教行事

宗教行事などの取り組みを通して、イエス様の深い愛を学びます。



異学年交流

下級生をリードすることで、自らが主体的に取り組む心や相手を思いやる心も芽生えます。



奉仕活動

自らに与えられている賜物をいかして、他者のためにできることを意識して行動します。



小中一貫の部活動

中学生と一緒に練習を行うことで技術や礼儀作法などの心の成長を育むことができます。



体育的行事

様々な運動に一生懸命に取り組む、やり遂げる力と健やかなからだを育みます。



食育

家庭科や保健の授業、学級活動、昼食の時間を通して学んでいきます。



デリアキッズ

放課後の活動には、学童保育、ピアノ教室、体育教室があります。



豊かな 学習環境

— 安全面・衛生面への配慮



- A.防犯カメラ(学園全体9台)
- B.校内緊急警報システム
- C.入校許可証
- D.スクールバス(ドライブレコーダーつき)
- E.コドモン(連絡アプリ)

- F.AED
- G.非接触型体温計
- H.アルコール消毒液
- I.自動水栓蛇口

— 集中して学べる環境



電子黒板

デジタル教科書を使用したり、視覚的な教材を活用したりすることで学びを深めています。



ICT教育

タブレットを学習に用いることで、興味や進度に応じた学習を進めることができます。また、一人一台所有することで家庭と学校を結び、情報を日常的に双方向から共有できる環境が整っています。



聖堂

いつも開かれている聖堂は、心を落ち着けて過ごすことができる場所です。



充実した 運動環境

校庭・体育館・プールの他に講堂やプレイグラウンドがあります。



オンライン授業

全校児童が一斉に集まるのが難しい場合でも、ビデオ会議アプリを使用することにより学校行事をスムーズに行うことができます。



— デリアキッズ（アフタースクール）の充実

忙しい保護者の皆様をサポートするために放課後から18:30までお預かりする学童保育を実施しています。また、国語・算数・英語・ピアノ・体育（1・2・3年）の放課後アフタースクールも充実しています。

ご質問Q&A

Q.登下校方法はどのようなものがありますか？

A.保護者による送迎、スクールバスの利用、徒歩のいずれかになります。

バスコースは郡山全域と、JR須賀川駅を結ぶ「須賀川コース」があり、須賀川・白河地区にお住まいの方々もより便利に登下校することができます。
詳しくはHPをごらんください。

Q.緊急時の対応は？

A.一斉配信メール（コドモン）で保護者にお知らせします。

保護者への連絡手段として「コドモン」を利用しています。コドモンを使って、災害時や緊急時にもいち早く保護者へ確実な情報を提供します。また、今後はスクールバスの位置情報や写真販売等にも活用する予定です。

Q.給食はありますか？

A.給食はありません。売店があります。

基本的にはお弁当です。心のこもったお弁当は、心の成長にかかせないものであると考えるからです。
売店にて日替わりパンやお弁当の購入が可能です。



そのほかのご質問にも
ホームページにてお答えしています。
ホームページからの
お問い合わせもできますので
お気軽にご相談ください。



長女がカトリックの幼稚園に通っていたことから、郡山に居を移す際に、次女とあわせ幼稚園から通わせることにしました。

幼小中と一貫して、学年の垣根を越えた活動もあり、人と人との結びつきや接し方などを自然に学べているとともに、他者への思いやりの心が育まれていると感じております。

先生方にも子ども一人一人の個性を尊重し、子どもたちの自主性を大切にしながら指導いただいて、のびのびと学園生活を過ごしております。

他方、子どもたちが悩みを抱えたり、迷ったりする際には、カトリックの教えにも通じる普遍的な価値観、奉仕の精神を持って、全体への配慮がなされていることが安心して子どもたちを預けられている理由です。

最近では、オンラインで行われた海外との交流や県外の学校との取り組みについても、家庭内でも楽しそうに話してくれており、はつらつと学校に向かう姿に日々の成長を感じながら、子どもたちを送り出しています。

現役の保護者
（5年・中学1年 内部幼稚園卒）
木村 都さん

寄せられた声



「I will start my presentation!」緊張している小学5年生の私の英語の発表を笑顔で聞いてくださった中学生の姿は今でも忘れられません。このエピソードは、小中合同で行われた英語の行事での思い出です。私はこの行事にザベリオの魅力が詰まっていると思います。

その魅力の一つは、英語教育です。ほかの学校に比べて授業数が圧倒的に多く、リーディングやライティングだけではなくネイティブの先生方と積極的に話すことで、英語でコミュニケーションする楽しさを知ることができました。

また、小中合同での活動が多いこともザベリオの魅力の一つです。小中合同清掃や夏祭り、学園バザーや部活動も小中合同で行っています。特に部活動では中学生と一緒に練習することで技術だけでなく、礼儀作法なども学ぶことができました。中学生になった今では、自分が中学生に憧れたように、小学生の憧れとなるような先輩になりたいと思って活動しています。

このような異学年交流を通して他者を思いやる心の教育はザベリオでしか経験できないと感じています。

現役の中学生
（中学3年 内部幼稚園・小学校卒）
康 華奈さん